

音の彼方へ、  
響きの系譜

進藤実優 (ピアノ)

2025年第19回ショパン国際ピアノコンクール  
ファイナリスト

©NIFC / Wojciech Grzedzinski

関本昌平 (ピアノ)

2005年第15回ショパン国際ピアノコンクール第4位

© 松村謙

# 特級 グランド・ コンチェルト

ピアノ:進藤実優

ラフマニノフ:ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調 Op.18

ピアノ:関本昌平

ショパン:ピアノ協奏曲 第1番 ホ短調 Op.11

他

発売中

子ども招待受付中!

※詳細は裏面へ

ピティナ・チケットQRコードより

2026.9.20(日) 15:00 開演  
(14:15 開場)

入場料(全席指定・税込):S席6,000円/A席5,000円/B席4,000円

愛知県芸術劇場

コンサートホール(名古屋)

指揮:岡本陸 管弦楽:名古屋フィルハーモニー交響楽団



岡本陸 (指揮)



名古屋フィルハーモニー交響楽団

[チケット取扱い]

アイ・チケット0570-00-5310 <https://clanago.com/i-ticket> チケットぴあ <https://t.pia.jp/> (Pコード: 327-764) ローソンチケット <https://l-tike.com/> (Lコード: 41894)

e+(イープラス) <https://eplus.jp/> 芸文プレイガイド 052-972-0430(愛知芸術文化センター内) CBCチケットセンター <https://www.funity.jp/cbc-ticket/>

ピティナチケット <https://ptna.tdc.ne.jp/entry/detail/112930>

※入場料金には消費税が含まれております。 ※やむを得ない事情で出演者・プログラム内容など変更になる場合がございますのでご了承ください。 ※未就園児のご入場はご同伴の場合でもお断り致します。

公演に関するお問合せ: CBC テレビ事業部 052-241-8118 (10:00 ~ 18:00 土日祝休) 一般社団法人全日本ピアノ指導者協会 [event@piano.or.jp](mailto:event@piano.or.jp) 03-3944-1583

主催: CBC テレビ / 一般社団法人全日本ピアノ指導者協会 (ピティナ)



令和8年度 劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業



# 特級 グランド・コンチェルト2026

## ～音の彼方へ、響きの系譜～

### 特級グランド・コンチェルト、いよいよ名古屋へ

昨秋の「ショパン・コンサート」で颯爽とステージに舞い戻り、圧巻のコンチェルトでサントリーホールに聴衆に深い感銘を与えた関本昌平が、いよいよ、現在の活動の拠点、名古屋の舞台に帰ってくる。早くから高い評価を受けてきた色彩豊かでスケールの大きなピアノイズムに、フレーズの隅々まで味わい尽くす懐の深さや余韻の長さが加わった格調高いショパンは、圧倒的な輝きを放つ。

もう一人のソリストには、昨年のショパン国際ピアノコンクールでファイナリストとなった伸び盛りの進藤実優。しなやかに香り立つ歌心と深い集中から生まれる純度の高い音楽は、すでに多くの聴衆を魅了している。今回披露するのは、若き情熱と濃密な抒情が交錯するラフマニノフの協奏曲第2番。ロシアで学んだ思い入れの深い作品だ。

共演は、特級グランド・コンチェルトの育ての親、マエストロ藤岡幸夫氏からの信頼も厚い新鋭・岡本陸と、名門・名古屋フィル。世代を超えて受け継がれるピアノイズムの現在と未来が、オーケストラとともに鮮やかに響き合う一夜に、ぜひご期待いただきたい。

加藤哲礼

### 進藤実優 (ピアノ) Miyu Shindo



2025年、ショパン国際ピアノコンクールファイナリスト。2022年、ジュネーブ国際音楽コンクールセミファイナリスト。ヴィーゴ市国際ピアノコンクール第1位、キッシンガー国際ピアノオリンピック第3位、第45回ビティナ・ピアノコンペティション特級銀賞。2002年生まれ。16歳で海外へ留学、モスクワ音楽院付属中央音楽学校を経て、現在、ハノーファー音楽演劇メディア大学在籍。仏マントン音楽祭、霧島国際音楽祭への出演や、国内外のオーケストラと共演。江副記念リクルート財団第53回奨学生。現在、アリエ・ヴァルディ氏に、これまでに、ヴァレリー・ピアセツキー、杉浦日出夫、二宮裕子、関本昌平、本村久子、細野真由美の各氏に師事。

### 関本昌平 (ピアノ) Shohei Sekimoto



2005年、20歳でワルシャワの第15回ショパン国際ピアノコンクール第4位。パリ・エコール・ノルマル音楽院卒業。桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコースを経てNYで研鑽を積む。ビティナ特級グランプリおよび第1回福田靖子賞第1位。第5回浜松国際ピアノコンクール第4位、第5回モロッコ国際音楽コンクール優勝。NYカーネギーホールやイギリス室内管との共演など国内外で演奏他、CD「ショパン」「ブラームス」をリリース。稲垣千賀子、M.ヴォスクレセンスキー、二宮裕子の各氏に師事。現在、名古屋音楽大学客員教授、桐朋学園大学准教授。

### 岡本陸 (指揮) Riku Okamoto



2025年、第4回ドラティ国際指揮者コンクールにて、最高位(1位なし2位)を受賞し、国際的な注目を集める。1998年生まれ。東京音楽大学音楽学部作曲指揮専攻(指揮)を特別特待奨学生として入学し、同大学卒業後は渡欧。2022年、第4回ブカレスト国際指揮者コンクールにて優勝。これまでに、MAV響、ブカレスト響、イル・ド・フランス国立管、都響、東響、新日本フィル、OEK、山響、群響、中部フィル、センチュリー響等と共演し、今後も全国各地のオーケストラと共演予定。現在は、フィンランド・ヘルシンキを拠点に、ヨルマ・パストラ氏の下で研鑽を積んでいる。



### 名古屋フィルハーモニー交響楽団

Nagoya Philharmonic Orchestra

1966年7月10日の楽団創立以来、名古屋市を中心に中部・東海地方の音楽界をリードするプロ・オーケストラ。革新的な定期演奏会のプログラムや、充実した演奏内容で広く全国に話題を発信。愛称は“名(めい)フィル”。2023年川瀬賢太郎が音楽監督に就任。ほか現在の指揮者陣は、小泉和裕(名誉音楽監督)、小林研一郎(桂冠指揮者)、モーシェ・アツモン(名誉指揮者)、ティエリー・フィッシャー(名誉客演指揮者)。2026年4月、冷水乃榮流が第5代コンポーザー・イン・レジデンスに就任。現在は年間約110の演奏会に出演。

### 子供無料招待企画

助成：文化庁 令和8年度 劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業

本公演は、子供舞台芸術鑑賞体験支援事業対象公演として文化庁に採択されました。子供たちの豊かな人間性を養成し、将来の文化芸術の担い手や観客育成に資するため、劇場・音楽堂等において本格的な実演芸術を鑑賞・体験する機会を子どもたちに提供する取組を文化庁が支援するものです。



応募ページ

※注意事項  
・車椅子のお客様はご購入前にアイ・チケットまで必ずお問合せください。／入場料金には消費税が含まれております。／やむを得ない事情で出演者・プログラム内容など変更になる場合がございますので、ご了承ください。／未就学児入場不可

### 特級グランド・コンチェルト これまでのあゆみ

2021年 ザ・シンフォニーホール (2022.5.1)

リスト：ピアノ協奏曲 第1番 (ピアノ：森本隼太)、ショパン：ピアノ協奏曲 第1番 (ピアノ：尾城杏奈)、ラフマニノフ：ピアノ協奏曲 第3番 (ピアノ：亀井聖矢)

2023年 ザ・シンフォニーホール (2023.5.3)

グリーグ：ピアノ協奏曲 (ピアノ：谷 昂登)、シューマン：ピアノ協奏曲 (ピアノ：桑原志織)、ラフマニノフ：ピアノ協奏曲 第1番 (ピアノ：阪田知樹)

2024年 ザ・シンフォニーホール (2024.8.30)

ラフマニノフ：ピアノ協奏曲 第2番 (ピアノ：古海行子)、チャイコフスキー：ピアノ協奏曲 第1番 (ピアノ：森本隼太)、ベートーヴェン：ピアノ協奏曲 第5番「皇帝」(ピアノ：田村響)

2025年 ザ・シンフォニーホール (2025.9.19)

モーツァルト：ピアノ協奏曲 第23番 (ピアノ：北村明日人)、ショパン：ピアノ協奏曲 第1番 (ピアノ：進藤実優)、ブラームス：ピアノ協奏曲 第2番 (ピアノ：桑原志織)